「ハックルベリーフィンの冒険」

十二月十七日（土）

竹内勝徳（鹿児島大学教授）



目から鱗の時間でした。それぞれの章に問題点が満載。黒人問題は当然としてアーホワイトの存在。キリスト教価値観への疑問の提示。子どもだからこそ出てくる感性が社会批判を伴っている。

時代的制約もありジム（黒人奴隷）は智恵がありハックを守る存在ではあるが、白人に都合のよい安心できる黒人として描かれている。アメリカ文学はこの一冊に始まるとヘミングウェイ言っていたが一九九〇年代以降「黒人を無視することで成立っている」と批判され、学校で扱うのは難しくなっているそうです。

先生ご自身の原文対訳でのご講義でした。

ランボー『地獄の一季節』

十二月十八日（日）

飯田伸二（鹿児島国際大学教授）



題名からして不思議。

ちょっとヨーロッパ旅行から帰ってきたという感じで、地獄での一つの季節が原題だそうです。

悪胤（あくいん）、地獄の夜、錯乱Ⅰ（狂気の処女／地獄の夫）錯乱Ⅱ（言葉の錬金術）不可能、光、朝、別れ。

後半は、錯乱Ⅱの四番目の散文と詩を中心に解説。閃光のような言葉と「それはもはや過ぎたことだ。」とそっけない「それ」で簡単に片付けてしまう。「そこがランボーの難しさだ」と。

随談シェイクスピア全集『ヘンリー四世一部・二部』

十二月三日（土）

小林潤司（鹿児島国際大学教授）



スーツ姿の小林先生は久しぶり。まさかフォルスタッフの向こうをはってのはったり。

歴史劇と言いながら喜劇的でもあるヘンリー四世。書いているうちに人物が動きだし、肥大化。次回の『ウィンザーの陽気な女房たち』にまで発展したのも観客の受けがよかったから。

史劇は、観客が歴史を知っていることを前提に、書かれていることにも注目。歴史の順番にシェイクスピア史劇を楽しむ随談も決定！

「寺山修司の世界」

竹本寛秋（鹿児島県立短大准教授）

12／6，13，20（火）



学長不在のため県立短大の竹本寛秋先生に特別講義をしていただきました。

俳句から出発した寺山。短歌も詩も文章も戯曲も、彼にはジャンル分けはなく俳句が短歌になり、詩になり。文章が詩になり短歌になりと自由自在。「本歌どり」の思想が随所にありその世界は重層的。ご講義も重層的でした。

奥村美枝プロデュース「佐藤泰志×シネマ」

12月11日（日）



『そこのみにて光輝く』の映画化で再評価が高まった佐藤泰志。『オーバー・フェンス』映画化を記念して奥村美枝さんが、佐藤泰志をエピソードを交えて熱く語る。佐藤映画仕掛け人福間健二さんもサプライズで登場。泰志との思い出を語っていただきました。

秀和ハッピーハーモニー

第1，2，3金曜日

又吉秀和先生

伴奏：室屋麗華先生



合唱クラスは「やさしさかごしま」のレッスンにはいりました。

体を動かし、呼吸法、発声法、姿勢、笑顔、骨盤の位置など総合的に指導いただいてます。自分にも人にもハッピーを降り注ぐ「ハッピーハーモニー」の時間です。

「うつほ物語」

第1，3水曜日

みたけきみこ学長



『源氏物語』に先行する長編物語『うつほ』

きみこ学長が渾身をこめて解説。長く冗長な文章からここはという場面をピックアップし、身振り手振り鹿児島弁訳まで登場。講座で聞くから面白い『うつほ物語』です。

万葉集を愉しむ

第1，2，3火曜日

富原カンナ先生



原文で愉しむ万葉集講座。丁寧な解説、豊かな知見、学ぶ知ることの楽しさを実感。

漢字表記とふりがなで読んでいく万葉集。いくつもある表記から、もともとの漢字の意味をくんで表記している場合もあり、奥が深いです。一緒に愉しみたい人募集中。

角田光代マラソン特別編『彼女のこんだて帖』朗読＆読書会＆ランチ







12月23日（金）

来年の角田光代トークライブ向けて9月からやってきた読書会（角田光代マラソン）。今回はさらに朗読と「作品を食べる」を加えて賑やかに。

新幹線で筑後市から江崎さんも朗読に参加。上別府さん、小村さん、きみこ学長も参加してのおいしそうな朗読で早くもお腹がちょっとグ～。

全員で作品の感想、意見交換。他の作品との比較など読書会を積み上げた成果が現れていました。

前半最後は、もちだひろこ先生による、模範朗読「どんとこいうどん」でさらにググ～。

後半はおまたせ「こんだて帖」から、きみこ学長が餃子鍋、たらとほうれん草のグラタン、タイ風春雨サラダの3品を、スノーパフを佐々木仁子さんに焼いていただきました。

今回はお出しできませんでしたが、学長が事前に挑戦したものには中華ちまき、豚柳川、タイ風やきそば、きのこ麻婆豆腐があります。

忘年会も兼ねてワインやビールも。アルコールの入らないフルーツパンチも人気でした。

文学は美味しい。文章も作中の料理も楽しめて最高でした。

伝統文化を知る時間





月のうさぎお香教室

第四木曜日　午前十一時

堀之内夕子（お香セラピスト）

お能を愉しむ

第二、四火曜日　午前十一時

上野寧子（金春流能楽師）

月の舟が誇る伝統文化に接する講座です。

古典文学を理解するうえで知っておきたいお香の知識、お香を作る、調合する講座です。聞くだけでなく、自分の香を作る楽しさもあります。

お能は形ができあがった芸能。「謡」のお稽古をするなかで、お能の仕組み、鑑賞の肝を学び、お能に親しんでいく、他にはない講座内容です

ありがとうございました　鈴木神父

聖書講座は十二月をもって終了しました。

種子島からトッピーで来ていただいたのが最初でした。素朴な疑問にも丁寧に教えていただきました。教会や純心短大でのご講義も増え、月の舟の講座は一旦終了。四年余にわたり本当にありがとうございました。

神父による聖書講座



大人のそろばん教室



ありがとうございました　塗木先生

大人のためのそろばん教室は十一月で終了しました。全十五回。思い出したそろばん珠、新たな暗算。脳トレにもってこいでした。